

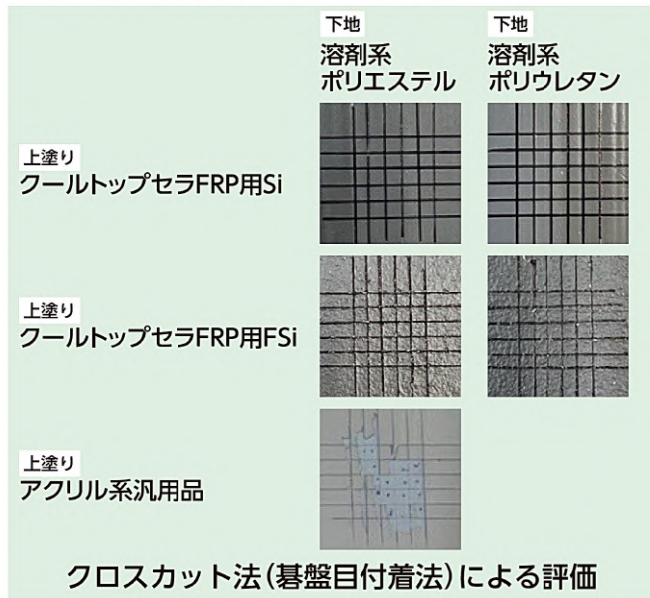
# クールトップセラFRP用Si/FSi HPトップFRP用Si/FSi

## 特長

### FRP防水との適合性

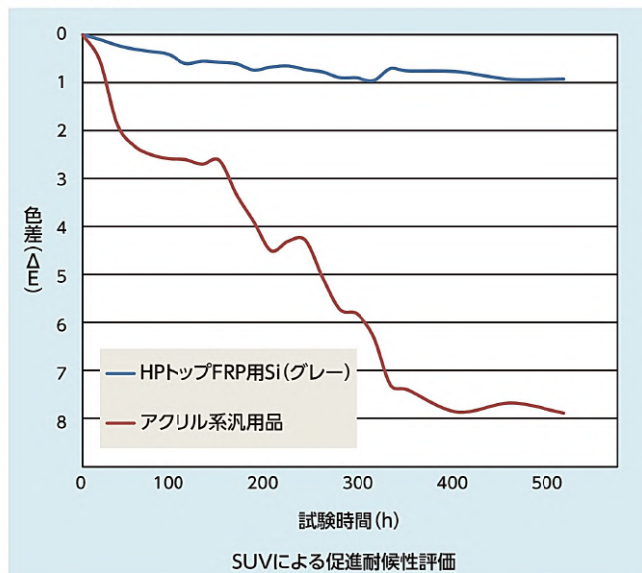
FRP防水層保護用塗料で直接塗装が可能です。FRP防水新設時に塗装されるポリエステル系やポリウレタン系の保護塗料とも相性は抜群です。

シーラー不要のため工期短縮にも貢献します。



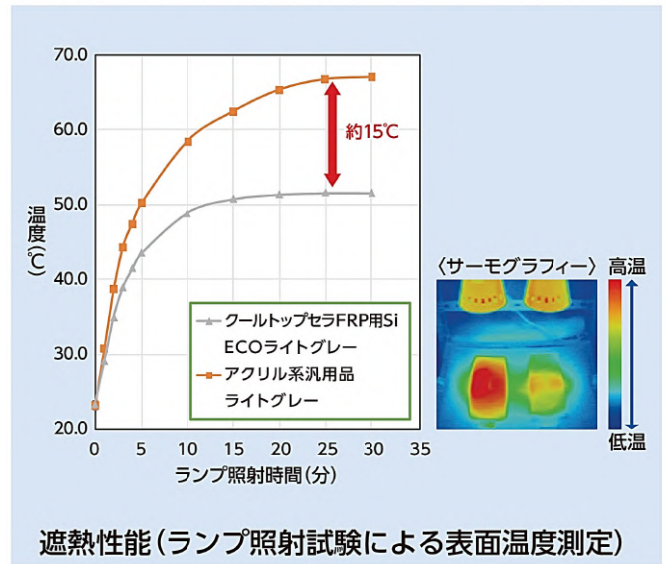
### 高耐候性・高耐久性

自己架橋形アクリルシリコン樹脂を使用した耐候性、耐久性に優れた設計です。更に、HALS配合により塗膜の劣化を抑制し防水層を長期間保護します。自己架橋による強靱な塗膜は塗膜の摩耗を抑制し耐久性にも優れます。



### 高い遮熱性

※クールトップセラFRP用Si/FSi・HPトップFRP用Si/FSi(CSスカイグレー)  
太陽光の赤外線を効果的に反射することで、防水層表面の温度上昇を抑え歩きやすくなり、歩行する箇所へ最適です。防水層の熱劣化も抑制します。特にクールトップセラFRP用Si/FSiは特殊顔料を使用することにより、高い遮熱効果を発揮します。



### 高い安全性

シックハウス症候群の原因とされる有害な物質(ホルムアルデヒド・環境ホルモン)を一切含んでいません。

## 用途/適用下地

各種建築物におけるFRP防水層の保護

## 商品体系

製品名	系統	容量	
クールトップセラFRP用Si	水 系	遮熱タイプ (高反射)	15kg/3kg
クールトップセラFRP用FSi		遮熱タイプ	18kg/4kg
HPトップFRP用Si	系	一般タイプ 遮熱色	15kg/3kg
HPトップFRP用FSi		一般タイプ	18kg/4kg

## 色相

クールトップセラFRP用Si/FSi



ECOライトグレー  
※遮熱色



ECOグリーン  
※遮熱色

HPトップFRP用Si/FSi



グレー



シルバークレー



ライトグレー



CSスカイグレー  
※遮熱色

## 標準施工・改修仕様

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	
1	下地処理	ほこり、土砂、油汚れなどを除去し十分乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下) ■旧塗膜がポリエステル系塗膜の場合、FRP防水層の劣化が軽微な場合やパラフィンなどの油分が残存している場合 ・サンドペーパーやポリッシャーなどで表面を目粗ししてください。 ・目粗し後の粉じんなどを除去し、アセトンでふき取り、十分乾燥させてください。					

### <骨材なしの場合>

2	上塗り	クールトップセラFRP用Si または HPトップFRP用Si 清水	100 0~3	0.15 ~ 0.20	2	塗装間隔：2時間以上 最終養生：24時間以上	ウールローラー 刷毛 吹付け
---	-----	--	------------	-------------	---	---------------------------	----------------------

### <骨材入りの場合>

3	上塗り	クールトップセラFRP用FSi または HPトップFRP用FSi 清水	100 0~3	0.40 ~ 0.60	2	塗装間隔：3時間以上 最終養生：24時間以上	ウールローラー 刷毛 吹付け
---	-----	--	------------	-------------	---	---------------------------	----------------------

\*素地表面の劣化が著しい場合は下塗りとして水性アスファルトシーラーを塗装してください。

\*旧塗膜が不明な場合は下地処理(表面の目粗し、アセトン拭き)を行ってから塗装してください。

## ■塗装上の注意事項

- 「クールトップセラFRP用Si/FSi」、「HPトップFRP用Si/FSi」はFRP防水層専用の上塗材です。他の防水材へは塗装できません。
- 気温5℃以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 素地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- 使用前に十分攪拌し、均一に塗装してください。攪拌は、出来るだけ泡が混入しないように十分注意してください。
- クールトップセラFRP用FSi、HPトップFRP用FSiは重質の骨材が配合されていますので、やむをえず水で希釈(清水で3%以下)する場合は速やかに使い切ってください。骨材が沈降しハードケキになる場合があります。
- 塗料は一度に厚く塗ると乾燥過程でクラックが発生する場合がありますので過度の厚塗りは避けてください。
- 塗膜乾燥過程の初期段階に降雨があった場合、塗膜から界面活性剤が溶出し、雨水が集中する箇所では泡が発生する可能性があります。雨水が河川に流入する恐れがある場合、地域の排水基準に則した管理を行ってください。
- 屋上の雨水がドレンに流れず、直接外壁に流れる構造の場合には、劣化した塗膜粉が外壁を汚染する可能性があるため、外壁の色に近い色相もしくは目立ちにくい色相で塗装してください。
- 塗料の取り扱い時は、十分に換気を行ってください。
- 各工程の塗装間隔及び最終養生は、所定の時間を厳守してください。
- 仕様の数値は標準値です。素地の状態、施工条件などにより、多少異なることがあります。
- このカタログに記載以外の下地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがあります。使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。

## ■取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場所の保管は避けてください。  
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。
- 水性アスファルトシーラーはカチオン系ですので、一般塗料と絶対に混ぜないでください。また、一般水系塗料に用いたはけ、ローラーなどの塗装器具を共用されますと固まることありますので避けてください。
- 製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読みいただき正しく安全にご使用ください。特に引火及び有害の危険性がある製品は、十分注意し、安全対策を行ってください。
- 詳細な内容が必要なおときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。SDSは当社ホームページよりダウンロードしてください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX 059-397-6191  
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255  
大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621  
九州支店 ☎092-938-0071

取扱店



URL <https://www.suzukafine.co.jp/>

●このカタログに記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。